

- その他の質問事項
- ・人口減少問題の対応策について
 - ・農地中間管理事業について
 - ・「宮川の中長期改修計画」について

小久保ともこ 議員
(公明党)

○多胎児に関する支援について

問 多胎児出産は増加傾向にあり、妊娠・出産・育児において様々な問題を抱えている。多胎児家庭を対象とした子育てサポート対策の見解を伺う。

答 現在、双子等の多胎児家庭への支援としては、妊産婦・新生児訪問や、こんにちは赤ちゃん事業で訪問し、母の産後の育児状況を把握するとともに、本市の子育てに関する情報提供、民間ヘルパーサービスや一時預かり等を紹介している。

また、今後は、メンタル部分での支援対策として、同じ多



胎児を持つ保護者同士が集い、情報交換や子育てに関する悩みなどを共有し、子育てに関する不安の解消が期待できる多胎児家庭を対象とした育児サークルやファミリーサポートセンター事業等を検討していく。

○子ども110番について

問 近年、登下校時などに子どもが被害に遭う犯罪が相次いでいることを踏まえ、子どもたちによる、子ども110番への実践的な駆け込み訓練の実施や協力者向けの研修などの一層の充実が必要であると考えますが、見解を伺う。

答 現在、「子ども110番の家」について各小学校では、①シールを貼つてある家の意味についての説明、②万一の場合にはシールを貼つてある家に助けを求めること、③自分の通学路にある、シールを貼つてある家の確認等を指導している。

駆け込み訓練については、避難訓練の一環として行われている不審者対応訓練において、模擬的な形で取り入れることができないか検討していきたい。また、協力者向けの研修等については、協力者の都合等を考慮しながら、今後とも、児

- その他の質問事項
- ・子ども・子育て支援新制度について
 - ・通学路の安全対策について
 - ・男女共同参画について

山田 広宣 議員
(公明党)

○地方公会計制度について

問 従来の総務省方式改定モデルの単式簿記・現金主義会計では事業別・施設別の分析が不十分である。複式簿記・発主主義会計を導入して「財政の見える化」を図る新しい地方公会計制度の捉え方及び今後の予定を伺う。

答 地方公会計制度については、これまでの現金主義では見えにくかったコストやストックを把握することで、中長期的な財政運営への活用の充実が期待でき、現行の決算情報と対比させることにより、財務情報の内容理解が深まるものと考え

る。さらに、財務情報の分かりやすい開示による説明責任の履行、また、今後も見据えた財務マネジメントへの活用により、財政の効率化・適正化が図れるものと考ええる。

今後、総務省においては、原則として、平成27年度からの3年間で全ての地方公共団体において統一的な基準による財務書類等を作成するよう要請する予定となっていることから、本市においては、固定資産台帳の整備を平成27年1月より着手し、平成28年度中に台帳の整備、平成29年度末までには貸借対照表等の財務書類の作成を予定している。

○市民サービス向上について

問 利用人数にかかわらず、市民サービス向上のため、月2回の日曜開庁に拡大してはどうか。また、1階ロビーのエスカレータが怖いと感じる市民のための低速度化、混雑時の北側駐車場の根本的な対策を講じるべきと考えますが、見解は。

答 本市では、月1回の日曜開庁に加え、市民課が全ての週の平日水曜日に、午後7時まで証明窓口を延長することで利用者の選択肢を増やしてお

り、現時点では日曜開庁業務の拡大は考えていない。証明の交付等に関する利便性の向上については、今後も利用状況を勘案しながら、その手法について検討したい。

エスカレータについては、事故防止の視点から、手摺にかまっていたり、子どもや子供さんの手を引いていただくよう注意喚起の表示をしている。また、足元に不安を感じる方には、総合案内でエレベーターを案内するなどの対応をしている。

庁舎北側駐車場については、混雑時には駐車場整理員のほか、庁舎警備員も駐車場整理に加わることとしているが、今後、旧庁舎跡の駐車場も含め、庁舎周辺の駐車場のあり方について調査研究していく。



- その他の質問事項
- ・公共施設のマネジメントについて
 - ・電力調達方法の変更について
 - ・庁舎の利便性・安全性向上について（総合窓口・コールセンター設置他）